

# 研究主題「自己の生き方を考える総合的な学習の時間の研究

～ 職場体験活動の充実・改善を目指して～

東京都教職員研修センター 研修部 企画課

江戸川区立松江第四中学校 教諭 齊藤伸治

## 研究のねらい

若者の無業者やフリーター等の増加が社会問題化し、児童・生徒一人一人に勤労観・職業観を育てるキャリア教育の重要性が高まっている。

平成14年度には、全国の約64%の公立中学校が総合的な学習の時間に職場体験活動を実施している。そして、職業や仕事の理解を促進するなどの効果が報告されたことから、職場体験は、キャリア教育推進の方策の柱の一つとして期待されている。その一方で、職場体験のみの一過性の活動になってしまい、体験的な学習を通して一人一人の生徒が自己の生き方を考える場につながらないこと等が指摘され、事前・事後指導の充実・改善が求められている。

そこで、総合的な学習の時間における職場体験活動の在り方を探り、充実・改善の内容と方策を示すことを研究のねらいとした。

## 研究の内容と方法

基礎研究	各種答申等を分析し、総合的な学習の時間における職場体験活動の在り方を明らかにする。
調査研究	総合的な学習の時間における職場体験活動を分析し、課題と改善策を明らかにする。
実践研究	総合的な学習の時間における職場体験活動の充実・改善策を提案する。

## 研究の結果と考察

### 1 基礎研究 ～総合的な学習の時間における職場体験活動の在り方～

#### (1) 総合的な学習の時間として身に付けるべき資質や能力

中学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の3つのねらいのうち、2つ目のねらいである「学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えること」が、文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」(平成16年1月)においては、キャリア教育関連事項として示されている。したがって、このねらいに示されている資質や能力を総合的な学習の時間における職場体験活動の身に付けるべき資質や能力とすべきであることが分かった。

#### (2) 職場体験活動に求められる能力と態度

キャリア教育の推進と無業者やフリーター等の若者が抱える課題解決の視点から、職場体験活動に求められる資質や能力等について考察した。

まず、国立教育政策研究所の「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」(平成12年12月)からは、中学校段階で「職業的(進路)発達にかかわる諸能力」として8つの能力と態度を育成することが重要であることが分かった。続いて、労働政策研究・研修機構「移行の危機にある若者の実像」(平成16年6月)からは、無業者やフリーター等の若者が「やりたいことが分からない」等の様々な課題を抱えていることが分かった。これらのことを基に、職場体験活動に求められる8つの能力と態度を明らかにした。(表1)

表1 職場体験活動に求められる能力と態度

【人間関係形成能力】	自他の理解能力 …………… 自分や友達、家族や職場の人等の個性や能力、生き方について理解する。 コミュニケーション能力 …… 調べ学習や体験学習の中で、友達や地域の人、職場の人との意思疎通を図る。
【情報活用能力】	情報収集・探索能力 …………… 自分が選ぶ職業等について調べたり、活動で分かったこと等を発表する。 職業理解能力 …………… 働くことの意義や職業の意味、働く人の様々な思いなどを理解する。
【将来設計能力】	役割把握・認識能力 …………… 自分が選択する職業の社会での役割を理解し、自分の役割や生き方を考える。 計画実行能力 …………… 職場体験活動の計画を立てて実行する。
【意思決定能力】	選択能力 …………… 自分が学びたいことに結び付けて職場体験活動で体験する職場を選ぶ。 課題解決能力 …………… 自己の課題を設定し、主体的に取り組んで解決する。 以降、本報告書に記す ~ の数字は、上の ~ の能力と態度を示すこととする。

(3) 総合的な学習の時間における職場体験活動での教師の指導のポイント

「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」では、これまでの進路指導では集団を対象とした指導が中心で、生徒一人一人の個性の伸長などが重視されてこなかったことを指摘している。そして、キャリア教育の基本方向の一番目として「一人一人のキャリア発達への支援」を掲げ、子どもたちのキャリア発達の的確な把握とキャリア・カウンセリングの機会の確保と質の向上を求めている。このことは、総合的な学習の時間の1つ目のねらい「自己の課題追究と問題解決」が求めている、生徒一人一人の成長を支援する教師の指導の在り方にかかわるものである。これらのことから、総合的な学習の時間における職場体験活動では、教師は生徒一人一人の課題追究を支援し、能力等を的確に把握し、カウンセリングを充実させることが大切であることが分かった。

以上のことから、総合的な学習の時間における職場体験活動の在り方を表2にまとめた。

表2 総合的な学習の時間における職場体験活動の在り方

1 身に付けるべき資質や能力等
(1) 総合的な学習の時間のねらいに示された資質や能力
(2) キャリア教育の視点から職場体験活動に求められる能力と態度( ~ )
2 生徒の学習活動
(1) 総合的な学習の時間として、「自己の課題を追究し、問題解決する」「問題解決等に主体的に取り組み、自己の生き方を考える」活動
(2) 職場体験活動として、主体的に取り組む事前学習、職場体験、及び事後学習
3 教師の支援
生徒一人一人の学習活動に対する、能力と態度の的確な把握やカウンセリング等による支援

2 調査研究 ~ 総合的な学習の時間における職場体験活動の課題 ~

表2に示した在り方に基づいて、総合的な学習の時間に行われている職場体験活動を分析し、課題とその改善策を表3にまとめた。

表3 総合的な学習の時間に行われている職場体験の主な課題と改善策

課 題	改 善 策
a 課題追究が設定されている例が多いが、一斉学習が多く、生徒一人一人が自己のペースで課題を追究する時間が少ない。	a 事前学習の期間に夏季休業を含めて十分な時間を確保し、生徒が自己のペースで課題を追究し、教師が支援するようにする。
b 「生き方」に関するテーマやねらいは多いものの、具体的な学習活動を指導計画に位置付けた事例が少ない。	b 「生き方」の何をどのように学ぶのかを明確にし、指導計画に位置付ける。
c 職場体験活動に求められる能力と態度の一部しか指導計画に位置付けられていない。	c 求められる能力と態度を指導計画に位置付け、生徒が自己の課題を追究する過程で身に付けるよう学習活動を計画する。
d 能力を的確に把握したり、カウンセリングを行ったりするなどの生徒一人一人への支援が十分には設定されていない。	d 生徒の能力を把握するためのワークシートや個別面談を取り入れるなどの工夫をする。
e 決められた学習活動に取り組む受け身の活動になりがちで、生徒から主体的に取り組む活動の設定が十分でない。	e 生徒が自分で考えた活動に取り組む場面を設定し、主体的に学習活動に取り組むよう工夫する。

### 3 実践研究 ～総合的な学習の時間における職場体験活動の充実・改善策～

#### (1) 職場体験活動のねらい

- 1 自己の課題を追究することを通して、問題解決能力を身に付ける。
- 2 学び方や考え方を身に付け、自己の生き方について考える。
- 3 自他の理解能力等の職場体験活動に求められる能力と態度( ～ )を身に付ける。

#### (2) 職場体験活動の具体的な改善策

##### a 課題追究の時間確保と教師の支援

図1の事前学習に夏季休業期間を含めることで、十分に時間を確保した課題追究が可能になる。例えば、「自分に合う職業を調べる」という課題を設定した生徒の場合、デザイナーに関心をもったなら、実際にデザイナーに会って話を聞いたり、アパレル企業の人事部に問い合わせして仕事や採用に関する資料を請求したりといった活動ができる。教師は面談を行い、適切な追究方法を選ぶよう助言するなどの支援をする。

##### b 生き方を考える学習活動

理想とする生き方のイメージをもつことから自己の生き方を考えることに結びつける。例えば、家族や地域の人、尊敬するスポーツ選手などの生き方を学ぶことを通して、理想とする生き方を探求するようにする。そのために、教師は「家族への生き方インタビュー」「職場の方から生き方を学ぶ」「理想の人物の生き方調べ」等の活動を取り入れ、自己の理想とする生き方を考察し、まとめ、発表する機会を設ける。

##### c 職場体験に求められる能力と態度を身に付ける学習活動

表1に示した自他の理解能力等の能力と態度を、職場体験活動の指導計画の中に明確に位置付ける。生徒がこれらの能力と態度を意識して学習活動に取り組むようにするために、教師はいつ、どの学習活動で、どの能力を身に付けるのかを前もって説明しておく。

##### d 生徒一人一人への教師の支援

まず、事前学習の当初に、身に付けるべき資質や能力等について一人一人の状況を把握するための調査を行う。その結果を基に、教師は一人一人に応じた手だてを考え、実行する。次に、生徒一人一人の学習活動を適切な方向に向けるために、個別面談を行う。全員を対象に同じ時期に実施する面談としては、夏季休業中の前半と後半に1回ずつ設定する。その他には、必要の都度、実施する。

##### e 生徒一人一人が主体的に取り組み、自己の生き方を考える職場体験活動例

- 1 テーマ 「自己の生き方を考える職場体験活動」
- 2 活動のねらい 職場で働く体験を通して、自己の課題を追究し、自己の生き方について考える。
- 3 学習活動 (1) 職場体験活動の中で、自己の課題を設定し、追究する。  
(2) 職場体験活動を通して、自己の生き方を考える  
(3) 職場体験活動に取り組むことで、職場体験に求められる能力と態度を身に付ける。

図1 これまでの職場体験活動の一般的な流れ

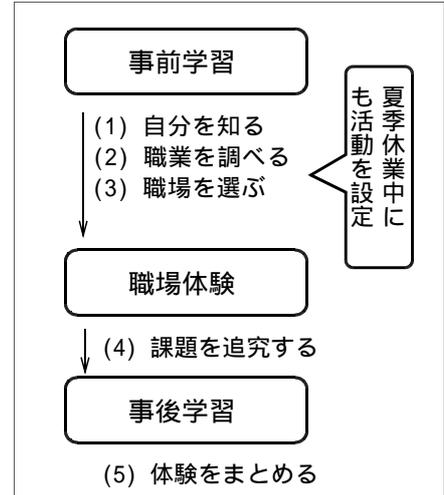


図2 総合的な学習の時間指導計画例

第2学年 単元名「生き方を学ぶ職場体験活動」（全55時）

時	学 習 活 動	課題追究と問題解決 自己の生き方を考える	教師の主な支援
4	<p>〔職場体験活動ガイダンス〕 【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のねらい、内容、流れを理解する。</li> <li>・能力と態度の自己の状況を把握する。</li> <li>・職業の話聞き、学習活動への関心をもつ。</li> <li>・活動に必要な礼儀作法を学ぶ。</li> </ul>	<p>活動全体の課題追究の見通しをもつ。 これまでに生き方について考えたことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験活動で身に付けるべき能力等に関する自己評価ワークシート</li> <li>・職業人による職業講話</li> <li>・職業人によるビジネスマナー講座</li> </ul>
1	<p><b>事前学習</b></p> <p>〔学び方学習〕 【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他を知る。</li> <li>・職業を調べる。</li> <li>・職場を選ぶ。</li> <li>・計画を立てる。</li> </ul>		<p>〔自他を知る〕</p> <p>1 自己理解の手だて</p> <p>〔個人学習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解ワークシート</li> <li>・適性診断コンピュータ・ソフト</li> </ul> <p>〔他者との学習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や家族への聞き取り</li> <li>・教師やスクールカウンセラーとの面談</li> </ul> <p>2 他者理解の手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達、家族、教師等への聞き取り</li> <li>・人物の調べ学習（スポーツ選手、歴史上の人物、俳優、歌手等）</li> </ul>
16	<p><b>課題追究1</b> 【8時間】</p> <p>職場体験活動の事前学習で自分が学びたいこと、追究したいこと等の課題を設定する（教師は課題が適切になるよう助言するための面談を夏季休業中に2回行う。）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>自他を知る1</b></p> <p>追究課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向いている職業を知る。</li> <li>・様々な人の生き方を理解する。</li> <li>・自分の適性が分からない場合の職業の選び方を知る。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>職業を調べる</b></p> <p>追究課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が就きたい職業の仕事内容を調べる。</li> <li>・地域にどのような職業があるか調べる。</li> </ul> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>職場を選ぶ</b></p> <p>追究課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する職場が見あたらないときの選び方を知る。</li> <li>・高校や大学を卒業するときの職業の選び方を知る。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>計画を立てる</b></p> <p>追究課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場ではどのように計画を立てて仕事を進めているのか理解する。</li> <li>・計画通りに進まないときの対策を知る。</li> </ul> </div> </div>		<p>〔仕事・職業を調べる〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までの職場体験資料</li> <li>・インターネット ・図書資料</li> <li>・職場からの「求人票」</li> <li>・区役所や産業団体窓口の紹介</li> </ul> <p>〔職場を選ぶ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族のアドバイス ・教師との面談</li> <li>・前年度までの職場体験資料</li> </ul> <p>〔計画を立てる〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール達人カード</li> <li>・教師との面談</li> </ul> <p>〔職場に依頼する〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナー練習（電話のかけ方、手紙の書き方等）</li> <li>・自己アピール練習（教師や友達との面談）</li> <li>・職場に提出する「自己紹介カード」</li> </ul>
夏季休業日	<p>〔職場に依頼する〕 【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する職場に体験を依頼する。</li> <li>・「自己紹介カード」で体験を希望する理由や体験で学びたいこと、自分が果たしたい役割等を伝え、検討してもらう。</li> </ul>		
2	<p><b>職場体験</b> 【1日6時間×5日間】</p> <p><b>課題追究2</b> <u>働く体験をする</u></p> <p>追究課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来就きたい仕事が自分に合っているか確認する。</li> <li>・働くことのよさや苦労について理解する。</li> <li>・職場の人が何を生きがいに働いているか知る。</li> <li>・正社員や契約社員、アルバイトなどの違いを理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー（個性や能力等の仕事・職業への生かし方、進路の選び方）</li> <li>・「業務日誌」</li> <li>・教員の巡回アドバイス</li> <li>・教員の電話相談でのアドバイス</li> </ul>
5	<p><b>事後学習</b></p> <p>〔体験成果の発表会〕 【3時間】</p> <p><b>課題追究3</b> <u>自他を知る2</u> 【2時間】</p> <p>追究課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する職業への意欲が固まったので、その道に進むための方法を調べる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価カード（生徒、保護者、職場の人、教師の評価と成果のまとめ）</li> <li>・発表会「発見！新しい自分」</li> <li>・まとめ学習「職場体験活動の成果の生かし方」</li> <li>・教師との面談</li> </ul>

3学期以降は、上級学校訪問などの学習活動に取り組む。

数字 自他の理解能力 コミュニケーション能力 情報収集・探索能力 職業理解能力  
役割把握・認識能力 計画実行能力 選択能力 課題解決能力

今後の課題

提案した指導の手だてについてさらに有効性を検証し、指導の内容と方法を改善するとともに、3年間の指導計画への位置付けの明確化と他の教科等との連携を図る。